

志津保育園施設関係者評価

実施日:2022年1月19日(水)

参加者:県内認定子ども園有志職員

#### 【園の教育・保育目標】

児童福祉法に基づいて、0歳児から5歳児までの乳幼児を保育・教育する。様々な理由で家庭での保育・教育が充分行き届かない乳幼児を、保護者から日々委託を受けて教育・保育し、その子の生涯にわたる人間形成の基礎を十分に培うことができるよう努める。家庭や地域社会と連携を密にして、子ども達の個性を大切にしながら、心身共に健やかに育つことを目的とする。乳幼児保育、幼児教育の両方に関する専門的資質、経験、意欲を持った職員により、様々な発達過程にある児童や、それぞれのニーズを抱えた家庭を広く包括した保育・教育を提供する。

また仏教的情操教育を真髄とし、健康で明るく思いやりのある自主性を持った乳幼児の育成をはかる。園での生活を通じて、明るい気持ちを持って元気に生活し、していいこといけないことを知り、人との関わりを大切に子どもに育ててほしいと願っている。

#### 【本年度の重点的に取り組む目標、計画】

- (1) 環境を通じた保育、教育
- (2) 家庭的かつ自然美を感じられる環境の設定
- (3) 子どもの主体性の尊重

#### 【評価項目の達成および取り組み状況】

- (1) 達成されている。  
室内、戸外共にスペースを有効活用した遊びの環境が設定されており、過不足なく遊びに打ち込める環境が整っている。
- (2) 取り組まれているが、成果が十分でない。  
家庭的な雰囲気は十分であるが、自然物の掲示、装飾についてクラスごとに達成の差があり、総合すると十分でないと感じざるを得ない。
- (3) 達成されている。  
遊びを選択する主体が子どもである様子が見て取れ、また職員の子どもへの声掛けも、それを踏まえている。

#### 【総合評価】

おおむね達成されている。

### 【総評】

本園は昭和52年に開園されており、草津市の中でも歴史のある園の1つになっている。現在は、利用定員130名で運営をされており、園庭に入ると、一見それほど広くはないと感じるが、スペースを上手く使い、子ども達がわくわくするような仕掛けがたくさんあり、子ども達はそれぞれのしたい遊びを見つけ夢中になって遊んでいる様子が伺え、回ってみると十分な広さだということがわかった。新型コロナウイルス感染状況の影響で、家庭では中々外で遊びに行けないと推測する中で、日々、園児たちが体を存分に動かして遊ぶことができる環境がとても素晴らしいと感じた。園内に入ると、子ども達が安心して安全に過ごせる環境を整えておられることが随所に見られ、例えば、観葉植物を沢山置く、子ども達の発達に応じて、また興味・関心を持てるような玩具を置く、子ども達の作品を大切に飾るなど限られている環境の中で子ども達のために“出来ること”を職員の皆さんが試行錯誤しながら日々保育をされていることが読み取れた。また、保育者一人ひとりが丁寧に子ども達と関わり、特に乳児の子ども達は安心して生活していることが伺えた。

これからも、少子化が進む中、子ども達が安心して生活する場だけではなく、子ども達を育てている保護者の皆さんが子育てに不安を持ったとき、悩んだときに身近で支えることができる地域の園であって欲しいと期待する。

### 【今後の課題】

環境の充実を通して保育、教育の質をより高めていくことが期待される。また教育、保育の内容について、保護者への情報発信をより充実させることで、子どもの育ちについて保護者の理解を育てることが望ましい。